

災害ボランティア特集

地震や豪雨などの災害発生時、被災地の復興には災害ボランティアが大きな役割を果たします。災害ボランティアは被災者や被災地復興のため、少しでも早く元の暮らしに戻れるよう活動します。「災害ボランティアに興味があるけど、どうやって始めるの?」「どんな活動ができるの?」そんな疑問にこたえます。

災害発生!被災地のためにボランティア活動をしたい時どうする?

1 被災地の状況を確認する

災害が発生してすぐに被災地に駆けつけても、被災地での災害ボランティアの受入れ体制が整っていなかったり、新型コロナウイルス感染対策のために災害ボランティアの受入れ範囲を制限していたりする場合があります。全国社会福祉協議会や被災地の社会福祉協議会(以下、社協)等のHPやFacebookなどのSNSを確認し、最新情報を収集するようにしましょう。

2 ボランティア活動保険に加入する

ボランティア活動保険は地元社協で加入手続きができます。
ボランティア活動中、万が一の事故に備えて、必ず保険に加入してください。

3 被災地の災害ボランティアセンター(以下、災害VC)でボランティア登録をする

大規模災害が発生した際、被災者や地域を支援するために社協が災害VCを設置します。災害VCは災害ボランティアの登録者と被災者をマッチングし、災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点となります。災害ボランティア活動を始める時にはまず災害VCへ登録し、ボランティアを必要としている人へ支援が届くようにご協力をお願いします。



災害時のボランティア活動について

災害ボランティアには、力仕事だけでなく、お話を聴いたり、炊き出しをおこなったりするなど、いろいろな活動があります。被害状況によって活動内容は異なりますが、一部を紹介します。

がれきの撤去、泥だし
などの片付け



災害直後など支援の初期段階で必要とされることが多いです。

避難所などでの炊き出し
や物資の仕分け作業



力仕事に自信のない人でもできる活動です。避難している皆さんに温かい食事を提供します。

話し相手やイベント企画
など、被災者の心のケア



避難所生活は心身ともに疲れ切ってしまうこともあります。お話を聴くことも大切なボランティアです。